

2012年 年頭所感 及び活動報告と今後の事業計画

発行：日本チェーンドラッグストア協会 広報担当

ここに新たな2012年を迎えるにあたり、ご挨拶させていただくとともに、昨年一年間の活動報告並びに今後の事業計画に関して、ご案内申し上げます。

2011年は東日本大震災と福島原子力発電所の放射能漏れの事故を抜きには考えられない年でした。大規模な計画節電と夏季の節電対応が余儀なくされました。

ドラッグストア業界におきましては、改正薬事法施行から2ヶ年がたち、3ヶ年の経過措置期限まで1年を切るなか、100%遵守に向けた活動を行ないました。第1類医薬品の提供にあたっては薬剤師による情報提供をサポートするため、「第1類医薬品説明文書集」を作成・配布しました。

さらに、登録販売者の資質向上を目指し、一般社団法人 日本医薬品登録販売者協会の支部設立と継続研修受講の後押しを積極的に行ないました。

また、「医薬品の安全で円滑な提供方法を考える有識者会議」を開催し、中立・公正な立場でそのあり方や方向性を検討しています。3月上旬には報告書にまとめ、厚生労働省等に提出する予定です。

しかし、改正薬事法の認知度アップやスイッチOTCの拡大にはまだ時間がかかります。JACDSは行政や他団体と協力して、国民の健康維持・増進に向けた活動を今年も積極的に行なってまいります。

私たちJACDSはこれからも、ドラッグストアが地域生活者にとって身近な「街の健康ステーション」として活用していただけるよう、懸命な努力や支援を続けてまいります。

報道関係の皆さまには引き続き、JACDSの活動に対し、ご協力並びにご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

1. 年頭所感
2. 2011年の実施内容と今後の事業計画
3. 第12回ジャパンドラッグストアショー開催概要

本件に関するお問い合わせ先

日本チェーンドラッグストア協会 事務局

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-5-10 楓第2ビル4階

TEL. 045-474-1311 FAX. 045-474-2569

1. 年頭所感

新年 明けましておめでとうございます。

昨年は3月に未曾有の災害が起き、東北地方を中心に大きな被害が出ました。協会も支援活動を全力で行ないましたが、被災地の復旧・復興はまだまだ道半ばであり、これからも活動が続けられることと思います。

さて、本年は改正薬事法施行から3年たち、経過措置が切れる年であります。改正薬事法100%遵守に向け、一層積極的に取り組んでまいります。また、医薬品の通信・ネット販売につきましては、民間の有識者会議より報告書を厚生労働省に提出し、解決の一助としていただきます。さらに、調剤ポイント問題については、国民の声を聞き、適切な対応をとってまいります。

今年の主な活動方針を上げますと、大きく次の3項目になります。

1. セルフメディケーション推進の環境づくりを強力に行う

わが国の今後の医療を支えていく制度導入に向けて、積極的に取り組む

- 1) 改正薬事法100%遵守に向けた活動を強化する
- 2) 生活者へ改正薬事法活用とセルフメディケーションの重要性を告知・啓発する
- 3) 「街の健康ステーション」構想を推進する
- 4) スイッチOTCの拡大に向けた活動を行なう
- 5) 面分業調剤を推進する活動を行なう

2. ドラッグストア業界発展に向け、活動を強化する

事業発展に向け、情報提供、効率化推進、人材育成を進める

- 1) 「有事対応マニュアル」(仮称)を作成する
- 2) ドラッグストア業界研究レポート報告会を継続的に開催する(春・秋)
- 3) 製・配・販の協働のインフラ整備活動を普及促進していく
- 4) 専門家(薬剤師・登録販売者)の資質向上に向けた環境整備を行なう
- 5) 介護情報提供員、先進医療情報提供員を育成する
- 6) 社会貢献活動を推進する

3. 健康産業育成のための活動を行う

多くの理解者と英知を集め、連携してより良い医療の実現を目指す

- 1) 他業界、他団体との連携を強化していく
- 2) 行政に対する意見具申および意見交換を積極的に実施していく
- 3) 国民へのPR活動を強化する

今年はこれらを活動方針として13の委員会およびプロジェクト活動を積極的に行ってまいります。ドラッグストア業界は国民の健康維持・増進に一層の貢献をするため、大きく変わろうとしています。JACDSはこのドラッグストア業界発展を確実かつ速やかに進めるため、会員を牽引するための活動を強力に行なってまいります。

そして、2015年10兆円産業という大きな目標を実現いたしたいと思っております。

どうか、報道関係者並びに業界関係者の皆さまの絶大なるご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

2012年1月1日

日本チェーンドラッグストア協会
会長 関口 信行

2. 2011年の実施内容と今後の事業計画

■2011年の実施内容

- (1) 東日本大震災の被災地支援活動の実施
- (2) 節電対応サポート
- (3) 「医薬品の安全で円滑な提供方法を考える有識者会議」の開催
- (4) ドラッグストア業界研究レポート報告会（8月、11・12月）の実施
- (5) 改正薬事法経過措置期限切れに向けた啓発活動
- (6) 一般社団法人 日本医薬品登録販売者協会への入会促進と支部設立の協力
- (7) 第11回ジャパンドラッグストアショーの開催
- (8) 面分業、セルフメディケーションの推進活動（レポートの作成と、第6回セルフメディケーションアワードの実施）
- (9) セルフメディケーション推進に向けた欧州視察・研究
- (10) アジアにおけるドラッグストア発展の活動支援と友好関係の深耕
- (11) 「市販後調査（PMS）」への協力
- (12) EDI、カテゴリーマネジメントの普及活動
- (13) 城西大コミュニティファーマシーインターンシップの実施
- (14) 地球温暖化対策への啓発活動（CO2の削減）
- (15) そらぶちキッズキャンプ支援募金活動
- (16) その他 記者意見交換会の実施（毎月）など

■今後の事業計画

I 基本計画

1. セルフメディケーションの推進

改正薬事法100%遵守、スイッチOTC拡大、第1類医薬品の販売強化、薬剤師の職域拡大—2015年 10兆円マーケットの実現—

2. 業界内インフラ整備

人材育成・資質向上、効率的流通システムの普及、返品問題への取組み、有事対応マニュアルの作成

3. 豊かな社会実現に向けた建議

ドラッグストアの「街の健康ステーション構想」の提案、健康産業発展の提案、OTC医薬品医療費控除の提案

II 具体的実施内容<各委員会の総括>

1) 改正薬事法運用への対応

- (1) 「医薬品の安全で円滑な提供方法を考える有識者会議」の報告書のまとめと提出
- (2) 改正薬事法のメリット・活用法を啓発
- (3) 経過措置期限切れに向けた活動＝遵守率100%
- (4) 運用における問題点の研究と提案
- (5) 法解釈の研究と提案
- (6) 日本薬業連絡協議会での討議

2) セルフメディケーションの推進

- (1) 生活者への告知・啓発活動
- (2) 情報提供員制度（介護、先進医療）の導入
- (3) 薬剤師の職域拡大の研究
- (4) 医師と薬剤師の新しい連携の研究
- (5) 市販後調査（PMS）への協力
- (6) 第7回セルフメディケーションアワードの実施

3) 面分業の推進

- (1) 薬剤師の調剤権の確立と職務領域の拡大
- (2) より効果的かつ効率的な医薬分業体制の推進
- (3) 代替調剤、テクニシャン制度、リフィル処分などの研究
- (4) 業界および一般生活者にメリットを訴求

4) 人材育成

- (1) 登録販売者県支部の設立及び資質向上継続研修の充実・拡大
- (2) 薬剤師の資質向上支援（JACDS勤務薬剤師会）
- (3) 薬学教育6年制における実務実習のあり方研究
- (4) アドバイザー認定制度の一層の普及推進
- (5) JACDS勉強会やセミナーの実施
- (6) 城西大学インターンシップの実施

5) 会員サポート事業

- (1) 調剤ポイント問題の解決
- (2) 有事における通信手段の確保と「有事対応マニュアル」（仮称）の作成
- (3) 防犯対策への取り組み強化（万引き防止）の推進（緊急連絡網の整備など）
- (4) EDIの普及推進（流通BMSの普及推進）
- (5) 社会貢献活動（支援募金、地球温暖化対策）に関する情報提供と普及推進
- (6) 顧問団による会員サポートの充実
- (7) 「行き過ぎた行政指導」への対応

6) 行事・イベント

- (1) 第12回ジャパンドラッグストアショー
2012年3月16日（金）17日（土）18日（日）千葉・幕張メッセ
- (2) EDI特別セミナー
- (3) 第7回セルフメディケーションアワード発表会 & 表彰式
以上、3月16日（金）第12回ジャパンドラッグストアショー同時開催
- (4) 各種セミナー・勉強会の開催（予定）
 - ・第53回日本人間ドック学会学術大会への参画
 - ・薬剤師フォーラムの開催
 - ・ドラッグストア業界研究レポート報告会の開催（6月・11月の2回）
 - ・流通システム標準化普及に向けた勉強会
 - ・JACDS会員合同勉強会

(5) その他

7) その他

3. 第12回JAPANドラッグストアショー開催概要

- テーマ がんばろう日本！ドラッグストアでつながる家族の元気！日本の元気！
- 会期 ・2012年3月16日（金）、17日（土）、18日（日）
 ・開催時間 10：00～17：00（3日間）
 ・3月16日、17日、18日バイヤーズデイ、3月17日、18日一般公開日
- 会場 幕張メッセ（4、5、6、7、8、ホール）
- 主催 日本チェーンドラッグストア協会
- 協賛 オールジャパンドラッグ（株）、（株）ニッド・日本ドラッグチェーン
- 後援 厚生労働省、経済産業省、千葉県、千葉市、中国チェーンドラッグストア協会、全米チェーンドラッグストア協会、米国大使館、駐日大韓民国大使館、台湾貿易センター、日本政府観光局、日本OTC医薬品協会、日本貿易振興機構、社団法人シルバーサービス振興会、財団法人日本健康・栄養食品協会、社団法人日本果汁協会、一般社団法人ペットフード協会、日本ジェネリック製薬協会、（株）プラネット（予定）

入場料 無料

来場見込 約12万人（3日間延べ人数）

見所

○JAPANドラッグストアショー4つの見どころ

（1）「面分業調剤と地域介護への挑戦」

H24年度は調剤と介護の一体改革が行なわれる。ドラッグストアは既存調剤マーケットに面分業調剤として本格進出するための推進を行う。

（2）「セルフメディケーション推進への挑戦」

セルフメディケーションを国策とし、制度化するための取り組み強化とそれを実現する専門家の資質向上と新しい役割、課題などについて紹介する。

（3）「改正薬事法遵守率100%への挑戦」

平成24年度6月より改正薬事法は完全施行となる。経過措置期間中に環境整備しなければならない事項について紹介する。

（4）「アジアマーケット進出への挑戦」

中国や韓国をはじめとする、アジア諸国の団体・企業、一般旅行者に働きかけ、日本企業が海外に進出するチャンスを見出す機会にする。

○ヘルス&ビューティ情報ステーション2012

これからのドラッグストアをキーワードに「環境対応型店舗関連」「介護技術・製品関連」の提案と子どもが体験できる（子ども向けの仕事体験）2つのコーナーでイベントを実施。

○テーマブース

セルフメディケーションの推進課題や介護・面分業に焦点をあて「介護情報提供員制度」「登録販売者の資質教育」の概要について解説、提案します。